

「ビジュルについて」

泡瀬誌（昭和63年発行）による

泡瀬の住民のビジュルに対する信仰は顕著なものがある。

ビジュルの語源は、＜賓頭慮（ピンズル）——不動の意＞。十六羅漢の中の第一の尊者で、その名前の意味は不動であるという。

ビジュルとは、石神のことで、その石神を信仰する、いわゆる石体信仰の態容をなすもので、沖縄県下に91カ所あるといわれる。

泡瀬のビジュルの形態は、自然の陽石を思わせるもので、安置される場所は神社にならって神殿をつくり、扉の奥深くにビジュルを祀っている。

<機能>無病息災、子安（子育て或いは子授け）、航海、交通の安全 祈願

上記の祈願をするので、住民は年中行事として、ビジュル物参りをする習俗がある。

<祭祀>専ら、男性司祭者にゆだねられており、その係を「ビジュルヒチ」といい、泡瀬の場合は、義正翁の末裔にあたる高江洲義総氏がその役目を果たしている。

